

## アルインコ DR-DPM80 クローンユーティリティ取扱説明書

本プログラムはフリーソフトウェアです。ソフトウェア（以下、ソフト）を利用するにあたってユーザー様はこちらの利用規約に同意いただいたものと致します。

<https://alinco-denshi.com/wp-content/uploads/2025/01/softwareagreement.pdf>

ご同意いただけないときはソフトの利用はお控えください。

### [クローンユーティリティについて]

クローンユーティリティを使うと DR-DPM80 に手動で行う設定を PC の画面上で行い、その設定内容を保存したり、別の個体にクローンしたりすることができます。またセキュリティのための暗証番号設定など、無線機側では設定できない項目も追加されます。まず製品の取扱説明書を読みながら一通り無線機の操作を行い、どのような機能なのかあらかじめ理解してからお使いください。ここでは各機能についての個別の説明はしていません。

### [必要なもの]

- ・電源が入る状態の DR-DPM80（無線機）
- ・ Windows 10/11 OS を搭載したパソコン

※軽い単機能ソフトですから CPU やメモリーに特別な指定はありません。Win10 より前の OS は動作保証していません。

- ・別売 PC 接続ケーブル ERW-7

### [ソフトのインストール、起動と初期設定]

- ・インストールとアンインストール

ダウンロードした zip ファイルを任意の場所に解凍します。フォルダにある setup.exe を実行して、指示にしたがって管理者権限でインストールしてください。アンインストールもウインドウズの「プログラムと機能」メニューから、同名のファイルを選んで通常のソフト同様に行えます。ソフトの更新の際は、まず古いプログラムを削除してから新しいものをインストールしてください。

### [接続]

\*必ずクローンユーティリティを起動する前に行ってください。起動後に行うと COM ポートがソフトに認識されません。

\*無線機の電源は切っておきます。

- ・ ERW-7 をパソコンの USB 端子に接続し、もう一方のプラグを無線機背面向かって右の「SP」ジャックに接続します。（「SPMIC」側は接続できません。無理に押し込むと故障し

ます。)

- ・無線機の電源を入れます。

### [ソフトの起動]

デスクトップに生成されるショートカット「DR-DPM80 Clone Utility ver (数字) 」.exe をダブルクリックします。オープニング画面が表示されてクローンユーティリティが起動します。

### [COM ポートの確認]

Windows のデバイスマネージャーを開いて、「ポート (COM と LPT)」の項目にある「USB Serial Port」の後にある COM\* の番号を控えます。クローンユーティリティの画面右端にある[COM1]のプルダウンで同じポート番号を選択します。

- ・ケーブル接続手順を間違えると COM ポートが認識されません。やり直してください。
- ・ケーブルが PC に正しく接続されているのに USB Serial Port がデバイスマネージャーに表示されないときは Windows の VCP ドライバーが正しくインストールされていないか、別のソフトが使用しています。USB 接続しているデバイスを外してみてください。

### [ソフトの操作について]

無線機の電源が入り、接続ケーブルが正しく接続され、ユーティリティが起動していることを確認します。

※実際のデータの編集を始める前に、本書に従って実際には使わない各種機能や文字入力なども含めて適当にプログラムを行い、ソフトの操作、データの読み書き、データがどのように反映されるかを確認しておくことをお勧めします。後述の方法で簡単に初期化(リセット)できます。

- ・無線機のデータを読み込む

画面の右端、COM設定の下にある「無線機から設定を読みだす」をクリックします。無線機の画面に「通信モード」が表示され、ユーティリティの右上の緑のプログレスバーで進行状態が確認できます。現在の無線機の設定状態がユーティリティに読み込まれます。

- ・編集したデータを書き込む

ユーティリティ左上の「無線機との通信」から「無線機に設定を書き込む」を選んでクリックすると無線機の画面に「通信モード」が表示され、ユーティリティの右上の緑のプログレスバーで進行状態が確認できます。書き込みが終わると自動的に無線機が再起動して新しい設定状態になります。

- ・データを保存する、開く

ユーティリティ左上の「ファイル」から「保存」を選んで任意の名前を付けて、パソコン上の任意の場所に保存します。『.M80』拡張子のファイルが生成されます。同じく「ファイル」の「開く」から生成された任意のファイルを選んで「開く」をクリックするとそのデータをソフトに取り込んで、書き込みや編集ができます。

- ・編集画面と無線機を初期化（リセット）する

ユーティリティの全ての設定項目を初期状態に戻したいときは、ユーティリティ右上隅のXをクリックして終了、改めてユーティリティを起動します。

この初期状態で COM ポート番号だけを合わせて書き込みすると無線機は工場出荷状態まで初期化されます。

- ・終了する

ユーティリティ右上隅のXをクリックして終了します。保存していないデータは失われます。終了する際に「データを保存しますか」のような警告は出ませんのでご注意ください。無線機の電源を切り、ケーブルを外します。

#### 「チャンネル毎の設定/ID ネーム/ショートメッセージ/オープニング画面」タブについて

**※長いデータを編集するときは、こまめに途中でデータをバックアップ保存してください。フリーズするとデータが消えて復旧できません。**

- ・全てのチャンネルに同じユーザーコード、秘話コード、秘話タイプと送信出力を設定したいときは画面中央あたりの「CH通信設定」ボタンで「全CHで共通設定」を選びます。ユーザーコード、秘話コード、秘話タイプと送信出力のボタンが有効になり、設定値が選べるようになります。画面上部の個別設定テーブルは使いません。

- ・チャンネルごとに別々の設定をするときは「CH通信設定」で「各チャンネルで個別設定」を選びます。共通設定のボタンは無効になりグレイアウトします。画面上部のテーブルで個別にチャンネルデータを編集できます。

- ・Name を除く項目は、フレームの上の「すべてのチャンネルのデータを一括変更する」にチェックをしておけば、すべてのチャンネルに同じ設定が反映されます。途中で一括にしたくなったときは、チェックを入れてから同一にしたい値を改めて1度選びます。

- ・CH：編集したいCH番号をクリックして選択します。Name はJIS標準の漢字を含む文字数字記号が入力できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

- ・pow：送信出力（パワー）です。プルダウンから任意の値を選びます。

- ・uc：ユーザーコードです。プルダウンから任意の値を選びます。

- ・scrCode：秘話コードです。プルダウンから任意の値を選びます。

- ・scrType: 強化秘話コードです。プルダウンから任意の値を選びます。
- ・skip: チャンネルスキャン時にそのチャンネルをスキャンする(オフ)、スキャンしない(オン=スキップ)、が選べます。

- ・IDのテーブルは右端のスクロールバーを上下させるとID番号 001~200 とグループ番号 GRP01~10 のネームタグが編集できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

- ・ショートメッセージ欄はショートメッセージ機能のメッセージが編集できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

- ・オープニング画面は無線機の電源を入れたときに、任意の文字を最多 4 行まで画面に表示できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

### 「セットモード/現在のチャンネル/キーロック」タブについて

無線機のセットモード項目と同じ設定が、プルダウンから任意の値を選ぶことで可能になります。選んだ設定値は全てのチャンネルに反映されます。チャンネルごとに個別設定することはできません。拡張セットモード項目は、編集のみと操作を別にできるようになっています。最後の「拡張セットモード」を「有効」にすると操作できるようになります。

ショックセンサー関連項目については、弊社で実験して「マンダウン機能」(倒れて動かない状態が一定時間続いたら発報)に適すると思われる状態に初期設定しています。なお、センサー部品の精度のバラツキで、クローンしても全ての個体が同じ状態で発報しないことが有ります。運用に障害がある時は個体ごとに数値を微調整してください。発報したい角度まで傾けても動作しないときは「傾斜判定角度」の数値を小さく、逆の場合は大きくします。

### [無線機に実装されていない、このユティリティソフト専用の機能について]

#### \* 「セットモード~~」タブ

1: 現在のチャンネル (現チャンネル)

無線機からデータを読み込んだ時に、無線機に設定されていたチャンネル番号が読み込まれます。無線機にキーロックが掛かっていたら「キーロック状態」はオンになります。編集が終わりデータを書き込んで再起動するとこの「現チャンネル」「キーロック状態」が始めに表示されます。

「キーロック状態」をオン（解除不可）にして書き込むと無線機本体では解除できなくなります。

#### 2：リセット禁止

オンを選ぶと誤って無線機をリセットして全項目が初期化されるのを防げます。次の「セットモード禁止」と合わせて管理者が無線機の設定をしないユーザーに貸与する業務用途に必須の項目です。

#### 3：セットモード（へのアクセス）禁止

管理者が最適にした設定を、ユーザーが勝手に変更できなくするために使います。ソフトでないと解除できません。但しPCのない環境でもセットモード設定は変更できたほうが便利な場合があります。そのときは「チャンネル毎の設定～」タブの「セットモードに入るためのPIN」をお使いください。セットモードに入るための4桁のパスコードが設定できません。

### \* 「チャンネル毎の設定～」タブ

#### 1：起動時のPIN設定（Personal ID Number）

電源を入れたときに暗証番号を入力しないと運用モードに入れられないようにするには「起動PINと何回間違ったらロックされるか」にチェックを入れます。

（PINは4桁の数字で、入力時は左から機能キー、EMS-97マイクの▼DOWNキー、同じく▲UPキー、戻るキーを、PINに設定した回数だけ押して、最後にPTTキー押下で確定します。0は操作不要なので飛ばします。）

設定後、電源が入ると「キーを押して暗証番号を入れる」旨のメッセージが出ます。キーを押下すると液晶に番号が表示されます。

暗証番号の例：

0000＝PTTキーを1回押す

0005＝戻るキーを5回押してPTT押下

1111＝機能キー、▼キー、▲キー、戻るキーを1回ずつ押してPTT押下

1203＝「機能」を1回、「▼」を2回、「戻る」を3回押してPTT押下

#### 2：セットモードに入るためのPIN

セットモードに入るときの暗証番号を起動時と同様に設定することができます。

※いずれも標準スピーカーマイクEMS-97が必要です、他のマイクだと暗証番号を解除できません。また暗証番号忘れてロックが掛かったときは、クローンユーティリティで設定を再書き込み（上書き）するしか解除方法はありません。リセットしても暗証番号は解除できません。また、秘話番号などの設定を第三者に見られないように、この状態では読み出しはで

きなくしています。本来の業務用無線機では盗難対策と悪用防止のため、上書きのような簡単な方法ではセキュリティ解除をできなくしますが、登録局なので甘くしています。

#### **[エラーについて]**

無線機の電源を入れていない、ケーブル接続の手順違い、COM番号が合っていない、ケーブル不良（切れている、正しく装着されていない、ドライバーソフトが不正）のときはERRORが表示されます。

#### **【ソフトウェアのバグについて】**

OS のバージョンと無線機の機種名を明示してお問い合わせフォームからご連絡ください。

<https://alinco-denshi.com/contact>

アルインコ（株）電子事業部

Microsoft、MS、Windows、Windows Server、Windows Vista、Excel 及び関連する名称並びにそれぞれのロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。その他、記載されている法人名、団体および製品名は、各社の登録商標または商標です。